

教育勅語よみ

朕ちん惟おふに 我わが皇祖こうそ皇宗こうそう 国くにを肇はじむること宏遠こうえんに
徳とくを樹たつること深厚しんこうなり 我わが臣民しんみん克ちく忠ちゆうに克ちゆうく孝こう
に 億兆おくちゆう心しんを一いつにして 世々よよ厥その美びを濟なせるは
此これ我わが国体こくたいの成果せいにして 教育きやういくの淵源えんげん亦また實じつに此こに
存ぞんす

爾なんじ臣民しんみん 父母ふぼに孝こうに兄弟けいていに友ゆうに 夫婦ふうふ相和あいわし 朋友ほうゆう
愛信あいしんじ 恭儉きやうけん己おのれを持じし博愛はくあい衆しゆうに及およぼし 学がくを修おさめ
め業ぎやうを習ない 以もつて智能ちのうを啓發けいはつし特器とつきを成就じゆうじゆし
進すすんんで公益こういを広ひろめ世務せいむを開ひらき 常つねに国憲こくけんを重おもんじ
国法こくほうに遵したがい

一旦いつたん緩急かんきゆうあれば義勇ぎゆう公こうに奉ほうじ 以もつて天壤てんじやう無窮むきゆうの皇こう
運うんを扶翼ふよくすべし 是かくの如ごときは 独ひとり朕ちんが忠良ちゆうりやうの
臣民しんみんたるのみならず 亦また以もつて爾祖なんじ祖先そせんの遺風いふうを顕彰けんしやう
するに足たらん

斯この道みちは 實じつに我わが皇祖こうそ皇宗こうそうの遺訓いくんにして 子孫しそん
臣民しんみんの俱とせに遵守じゆんしゆすべき所ところ 之これを古こ今きんに通つうじて謬あやまら
ず 之これを中ちゆう外がうに施ほしても悖もたらず 朕爾ちんなんじ臣民しんみんと俱とせに
拳拳服膺けんけんぷくやうして 威其徳みなそのとくを一いつにせんことを庶幾こいねがふ

明治二十三年十月三十日

御名 御璽

教育勅語 意識（口語文）

国民の皆さん、私たちの祖先は、国を建て始めた時から、道義道徳を大切にすると、という大きな理想を掲げてきました。そして国民が、国家と家庭のために心を合わせて力を尽くし、今日に至るまで美事な成果をあげてくることができたのは、わが日本のすぐれたお国柄のおかげであり、またわが国の教育の基づくところも、ここにあるのだと思います。

国民の皆さん、あなたを生み育ててくださった両親に、「お父さんお母さんありがとう」と感謝しましょう。兄弟のいる人は、「一緒にしつかりやろうよ」と、仲良く励まし合いましょう。縁あって結ばれた夫婦は、「二人で助け合っていこう」と、いつまでも協力しあいましょう。学校などで交わりを持つ友達とは、「お互い、わかつているよね」と、信じあえるようになりましょう。また、もし間違ったことを言ったり行ったりしたときは、すぐ「ごめんなさい、よく考えてみます」と自ら反省して、謙虚にやりなおしましょう。どんなときでも自分一人ではできないのですから、いつも思いやりの心を持って、「みんなにやさしくします」と、博愛の輪を広げましょう。誰でも自分の能力と人格を高めるために学業や鍛錬をするのですから、「進んで勉強し努力します」という意気込みで、知徳を磨きましょう。さらに一人前の実力を養ったら、それを生かせる職業に就き、「喜んでお手伝いします」という気持ちで公（おおやけ）に世のため人のため働きましょう。ふだんは国家の秩序を保つために必要な憲法や法律を尊重し、「約束は必ず守ります」と心に誓って、ルールに従いましょう。もし国家の平和と国民の安全が危機に陥るような非常事態に直面したら、愛する祖国や同胞を守るために、それぞれの立場で「勇気を出してがんばります」と覚悟を決め、力を尽くしましょう。いま述べたようなことは、善良な日本国民として不可欠の心得であると共に、その実践に努めるならば、皆さんの祖先たちが昔から守り伝えてきた日本的な美徳を継承することにもなります。

このような日本人が歩むべき道は、わが皇室の祖先たちが守り育ててきた教訓と同じものです。かような皇室にとっても「いいもの」は、日本の伝統ですから、いつまでも「大事にしていきたい」と心がけて、守り通しましょう。この伝統的な人の道は、昔も今も変わることはない、また海外でも十分通用する普遍的な真理に他なりません。そこで、私自身も、国民の皆さんと一緒に、これらの教えを一生大事に守って高い特性を保ち続けるため、ここで皆さんに「まず、自分でやってみます」と明言することにより、その実践に努めて手本を示したいと思いません。

明治二十三年（一千八九〇）十月三十日

御名（御実名「睦人」・御璽（御印鑑「天皇御璽」）

明治神宮崇敬会刊 「たいせつなこと」より

教育勅語の十二徳

孝 行 子は親に孝養をつくしましょう。

友 愛 兄弟、姉妹は仲良くしましょう。

夫婦の和 夫婦はいつも仲むつまじくしましょう。

朋友の信 友だちはお互いに信じ合ってつきあいましょう。

謙 遜 自分の言動につつしみましょう。

博 愛 広くすべての人に愛の手をさしのべましょう。

修学習業 勉学に励み職業を身につけましょう。

智能啓発 智徳を養い才能を伸ばしましょう。

徳器成就 人格の向上に努めましょう。

公益世務 広く世の人々や社会のためになる仕事にはげみましょう。

遵 法 法律や規則をまもり社会の秩序に遵いましょう。

義 勇 正しい勇気を持って国のために真心尾を尽くしましょう。